

学習支援等

1. 学修状況の確認方法

- ・定期考査、確認テスト、課題、報告書、研究発表等で学習状況を確認することとする。
- ・担任との面談を実施し、学習状況(単位の取得状況、出席状況、健康状態等)を確認する。
- ・各授業の理解度を確認するために授業の最後に C-Learning での確認テスト、アンケート調査を実施する。

2. 学修支援体制

- ・成績優秀者への奨励や表彰するものとする。
- ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図る。
- ・学校は、各科目の授業期間中において、課題、レポート、確認小試験等を課し、フィードバックに努める。
- ・ビジネスにおける情報収集力や発信力を高めるため、プレゼンテーションやディスカッション、ディベート、プログラミングなどの体験型学習を積極的に導入する。
 - ・質問のある学生には放課後等に担当する教員が対応し学生の理解に努める。
 - ・担任制を実施し、責任を持って、助言、修学指導をおこなう。
 - ・自己診断等を実施し、学生自身の適性を認識し、将来の進路選択の参考にする。
 - ・C-Learning、教育アプリ等を活用し、授業のアンケート実施し、理解状況を把握する。
 - ・選択授業を実施し、学生の進路に合わせて、授業カリキュラムの作成を可能にするよう努める。

3. 表彰

(1) 学内表彰

① 学期末表彰

- ・奨励賞 前・後期の成績優秀者

② 年度末表彰

- ・努力賞 年間を通じてその努力の度合いが高い者
- ・単年度皆勤賞 年間を通して無遅刻、無欠課の者

③ 卒業時表彰

- ・学校長賞 在学期間を通しての成績優秀者
- ・皆勤賞 在学期間を通して無遅刻、無欠課の者

(2) 外部団体表彰

年度末に各外部団体の表彰基準に該当する者は、各外部団体の表彰も行う。

4. 奨学生制度

日本ビジネス公務員専門学校奨学生制度は、当校で学習したいが経済的に就学が困難であるという学生に対して奨学生として認定し、幅広く就学する機会を与える制度である。

※進級時に留年となった場合は奨学生制度の継続手続きを行っていても、奨学生制度の利用は取り消され翌年度は奨学生制度を継続して利用することは出来ない。